

2-8 関東南部における異常地殻活動に関する特別研究

防災センター 高橋 博

三浦房総半島でみとめられた異常地殻変動について、昭和45年度特別研究促進調整費により、緊急に研究に着手することとなりました。その概要は次の通り：

1. 研究の趣旨

本研究は、今回の地殻変動が最もはげしい房総半島南部において測量および地殻活構造の調査観測を行ない地殻活動の傾向について研究し、次年度以降の総合的観測のための資料を得ようとするものである。

なお、本研究は次年度以降も各機関において引き続き調査観測を行なう予定である。

2. 研究の概要

(1) 測地学的方法による地殻変動の観測研究（国土地理院）

房総半島南部において水準測量、菱形基線測量等を行なうとともに、館山付近に水平観測坑を掘り、その中で地殻の傾斜伸縮の連続観測を行ない、測量精度の向上をはかり、地殻変動の傾向および地殻変動と地震発生との関連について研究する。

(2) 地殻活構造に関する調査研究

① 活構造の調査および活断層の変位に関する研究（地質調査所）

房総半島南部にある活断層、活しゅう曲等活構造の調査を行なうとともに、関東地震（1923年）でできた延明寺断層の変位運動の観測を行ない、地殻活構造と地震発生との関連について研究する。

② 活断層の傾斜運動に関する観測研究（防災センター）

過去の地震に関係が深いとされる岩井断層について、これに接する地塊に豎孔を掘りその中で傾動活動の観測を行ない活断層の活動と地震発生との関係について研究するとともに他の観測結果を集収解析し、これらより今回の地殻活動の傾向と地震発生との関係について研究する。

なお、この研究の成果は来年度およびそれ以降に期待されるので、今後も、関係機関は協同して研究をすゝめ成果を当センターで印刷し、広く関係機関（者）に提供し、地震予知の実用化に役立てたいと考えています。